

黒毛和種雌肥育牛へ給与する配合飼料の 30%を圧ぺん玄米で代替できる(現地実証)

福島県農業総合センター 畜産研究所 沼尻分場

1 部門名

畜産一肉用牛一畜産栄養

2 担当者名

妹尾毅、門屋義勝、小田康典、長谷川裕貴

3 要旨

輸入飼料代替として、飼料用米の利用拡大が求められている中、黒毛和種雌肥育牛への圧ぺん玄米給与技術(配合飼料重量換算 30%代替)を県内一貫農場で実証した。

圧ぺん玄米代替給与を 11 ヶ月齢から出荷時まで実施した枝肉成績は、実証農場の慣行肥育成績と同等で 1 頭あたりの飼料費は約 35 千円削減できた。

- (1) 現地実証の枝肉成績は、当所内で実施した黒毛和種雌肥育牛への圧ぺん玄米代替給与試験(配合飼料 TDN 換算 30%代替)と同等の結果であり、現地実証農場の慣行肥育と遜色がなかった(表 1、表 2)。
- (2) 1 頭あたりの飼料費は約 35 千円/頭削減できた(表 3)。
- (3) 多湿期の飼料用米の保管には、変敗やカビに注意が必要である。

表1 畜産研究所沼尻分場での枝肉成績(雌) (単位:kg, cm², cm)

	出荷月齢	枝肉重量	ロース芯面積	バラ厚	皮下脂肪	歩留基準値	BMSNo.
圧ぺん玄米代替 (n=5)	30.6 ± 0.5	521.4 ± 25.7	77 ± 8	9.3 ± 0.8	2.4 ^a ± 0.2	77.0 ± 1.5	8.8 ± 1.5
慣行肥育 (n=5)	30.6 ± 0.3	514.8 ± 67.7	73 ± 10	8.8 ± 0.9	2.8 ^b ± 0.3	75.8 ± 1.0	9.6 ± 0.9

注 平均値±標準偏差。異符号間に有意差有り (p<0.05)。

表2 実証農場での枝肉成績(雌) (単位:kg, cm², cm)

	出荷月齢	枝肉重量	ロース芯面積	バラ厚	皮下脂肪	歩留基準値	BMSNo.
圧ぺん玄米代替 (n=3)	28.7 ± 2.1	477.5 ± 30.9	73 ± 13	8.5 ± 0.9	3.8 ± 1.4	75.3 ± 1.97	9.3 ± 2.5
慣行肥育 ^{注1} (n=8)	29.5 ± 1.0	465.6 ± 49.3	64 ± 13	8.2 ± 0.6	2.8 ± 0.6	74.8 ± 1.57	8.0 ± 3.0

注1 実証農家における雌8頭の肥育成績の平均(H28~H31年度)。平均値±標準偏差。

表3 現地実証における1頭あたりの飼料費の差 (円/kg, kg/頭)

単価		圧ぺん玄米 1頭あたり	
圧ぺん玄米	配合飼料	比較	総給与量 飼料費の差
35.5 ^{注1}	61.1 ^{注2}	△25.6	1,352 34,611

注1 玄米21.6円/kg+圧ぺん加工費13.9円/kg(税8%込)

注2 農林水産省流通飼料価格等実態調査(平成30年度)

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成 27 年度~令和 2 年度
- (2) 研究課題名 肉用牛の安定生産技術の確立

5 主な参考文献・資料

- (1) 県農林水産部飼料用米給与マニュアル Vol.3
- (2) 「肉用牛肥育一貫経営において黒毛和種雌肥育牛へ給与する配合飼料の 30%を圧ぺん玄米で代替できる」普及に移しうる成果 (H30 年度)